

Crohn 病患者におけるリンパ腫の発生

Development of lymphoma in patients with Crohn disease: *Glick SN, Teplick SK, Goodman LR, et al* (Radiology 153: 337-339, 1984)

炎症性腸疾患とリンパ腫の関連は、癌との関連ほど明らかではない。しかし、原発性の大腸リンパ腫が潰瘍性大腸炎で26例報告されており、Crohn 病でも13例のリンパ腫の発生が報告されている。著者らは、Crohn 病で3例のリンパ腫を経験した。第1例は69歳の男性で、小腸 Crohn 病。十二指腸から近位小腸にかけての large-cell(histiocytic) lymphoma の発生をみた。第2例は51歳の女性で、大腸 Crohn 病。直腸からS状結腸にかけての large-cell (histiocytic) lymphoma の発生をみた。第3例は22歳の女性で、

回腸末端から結腸にかけての Crohn 病。縦隔から鎖骨上窩にかけての Hodgkin 病の発生をみた。

Crohn 病とリンパ腫の関連についての報告は少ないので、統計学的に云々するのは難しい。一般に消化管での Hodgkin 病はまれだが、Crohn 病では large-cell と Hodgkin がほぼ半々を占めている。Crohn 病の診断とリンパ腫の発見間隔は1~16年(平均6.6年)で、4人では2年以内に起こった。著者らの第3例は、Crohn 病の診断6か月後に発見した。腎移植後のリンパ腫発生は、免疫抑制剤投与との関連が問題になっているが、Crohn 病の場合、文献的には薬剤との関連には触れていない。

リンパ腫の発生部位は、多くは Crohn 病の部位に一致しているが、著者らの第3例は腸管外にリンパ腫の発生した2例目である。

Das らは、Crohn 病、潰瘍性大腸炎、コントロールの腸間膜リンパ節のホモジネートを胸腺を摘除したマウスの腹腔内に注入した実験で、34匹の Crohn 病からのホモジネートを受けたマウスの4匹にリンパ腫が10~28週後に起こった。潰瘍性大腸炎とコントロールでは発生を認めなかった。このことは、Crohn 病患者のリンパ節中の伝播因子が、リンパ腫発生に関連のあることを示唆している。その他の研究でも、Crohn 病の患者は、先天的あるいは後天的にリンパ腫を起こす免疫学的欠陥を指摘している。臨床的には、以上のことを念頭に置いて、リンパ腫を早期発見すれば、治癒または緩解の可能性は十分ある。

(愛知県がんセンター第1内科

小林世美 抄)